

①事業実施報告書詳細

学校名 佐伯市立渡町台小学校

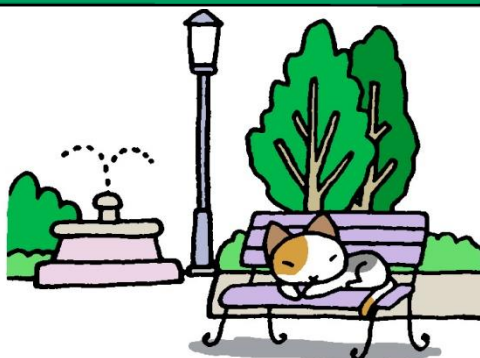
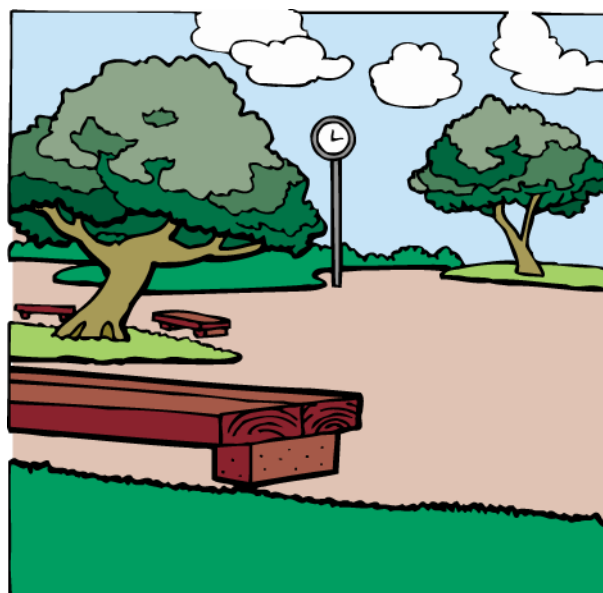
学期	時間	場所	概要	活動記録(写真)	児童の反応
一学期	25時間 10時間	公園 教室 PC室 図書室	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の持つ役割の視点をもたせて3つの公園の実態観察。 ・課題となる事柄を出し合いグループ分けを行う。 ・課題解決のために取組の計画をたてる。 ・テーマ「みんなが集うみんなのための公園づくり」を設定しグループ活動開始 ・それぞれのグループのリーダーを中心にして調べ学習 	   	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみが多い ・トイレが汚い ・ベンチが少ない ・ベンチや遊具のペンキがはげている ・公園を使う人が気持ちよく使えない。 ・ごみ箱を設置しよう ・トイレの掃除や芳香剤、造花などを置こう。 ・ベンチや遊具にペンキを塗ろう。 ・プランターに花を植えて公園に設置しよう。 ・看板を設置して地域の人に呼び掛けよう。 ・草取りや大きな石を撤去しよう。
2学期	20時間	公園 教室 PC室	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなが心地よく集まるようにするため【きれい・楽しい・安全】なみんなのための公園をつくろう」の課題設定及び情報収集 ・再び、公園の実態調査<視点> ・みんなが心地よく集まれる場所になっている 	<p><動機付け ></p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み中、公園に小さな子供やお母さんが遊びに来ていた。 ・トイレの使い方が悪かった。 ・雑草がたくさん生えていた。 ・犬の糞があった ・ごみ箱がない ・遊具やベンチなどが壊れている。

		<p>か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園の実態を出し合い解決方法を考える。 ・「みんなが心地よく集まり 憩える公園にするための活動をしよう」 		<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターを作ろう。 ・看板を作ろう ・ごみ箱を作ろう ・花壇を作ろう。 ・遊具を作ろう。 ・ベンチを作ろう
三 学 期	25 時間	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなが心地よく集まり 憩える公園にするための活動をしよう」のテーマのもとメリット、デメリットを考えながら公園に集う人のことを考えた事をもとに具体的に活動開始 <p>< 5-1 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレの清掃 ・ベンチのペンキ塗り ・プランターの花を設置 ・看板の設置 ・危険な石の撤去 <p>< 5-2 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベンチの作成・設置 <p>< 5-3 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベンチのペンキ塗り ・枝の剪定 ・ごみ拾い 	   	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所のOBの方の話は勉強になった。 ・ごみ箱は意図的に置いていないんだ。ごみは持って帰るが基本だ ・ベンチの色はどんなのかわいいのかな。 ・ペンキの塗り方は、ネットで調べてわかっていただけ土をほって下塗りをする前に汚れを落とすことは知らなかった。やってみて大変だったけど塗り上げたときはうれしかった

平成27年度 第5学年2組

総合的な学習の時間

みんなが集う みんなのための公園づくり



佐伯市立渡町台小学校

1 単元名

みんなが集う みんなのための公園づくり

2 目標

A：他者や社会との関わりの視点

公園の現状をもとに自分たちにできることをしようという思いや願いを持ち、取り組みの過程の中で地域の方々に尋ねたり協力したりする活動を通して、他者と協同することの大切さに気づかせるとともに、地域にすすんで関わろうとする態度を育てる。

B：学習方法の工夫の視点

学習過程の中で調査やインタビューなど様々な方法を使って多様な情報を集め、他の情報と比較したり関連付けたりして考えたり、焦点化したりする場面で効果的に思考ツールを使うことで課題解決の仕方を身につけ、相手や目的に応じて方法を選択して表現しようとする力を育てる。

C：自己を見つめる視点

学習を振り返る活動を通して、自分たちの学びや活動が地域に関わっていることに自信を持つことで、次の活動へ生かそうとする態度を育てるとともに、自分なりの方法を考え、広げたり深めたりして生活に生かそうとすることができる。

3 指導の立場

(1) 児童および学習対象について

- ①総合的な学習の時間に関する全体的な傾向
- ②他者や社会との関わりの視点から
- ③学習方法の工夫の視点から
- ④自己を見つめる視点から

(2) 指導について

- ①活動全体を見通した留意点
 - ②人と関わり地域とつながるための工夫
 - ③探究的な学習プロセスの構成
- ア：課題設定の工夫
イ：情報収集の工夫
ウ：整理・分析の工夫
エ：まとめ・表現の工夫
- ④自己のよさに気づかせるための工夫

4 活動の流れ（具体）：みんなが集う みんなのための公園づくり

	活動の流れ <思考力：思考ツール>	つきたい力
全 体 課 題 設 定	<p>STEP 1 活動全体を通した課題をつかむ段階</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どの写真がどこの公園かな。</p> <p>○地域にある公園のクイズを通して、写真を見て気が付いたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雑草がたくさん生えている。 ・ゴミがたくさん落ちている。 ・遊具がさびている。 ・花壇の花がきれい。 <p>（・公園の名前には鳥の名前がついている）</p> <p>○みんなのための地域の公園はこのままでよいのかを投げかけ、自分たちに出来ることを考え、課題を設定する。</p> <p style="text-align: right;"><広げる：ウェビング></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>みんなが集まる公園にするために、 自分たちにできることはないかな。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・公園を掃除して、きれいにする。（きれい） ・きれいに使ってもらうようによびかける。（きれい） ・遊具のペンキをぬる。（楽しい・安全） <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>課題</p> <p>みんなが心地よく集まるようにするために、 【きれい・楽しい・安全】なみんなのための公園をつくろう。</p> </div>	<p>B-1 (1)</p> <p>自分たちを取り巻く社会に目を向け、経験や既習事項と関連させて考え、課題を作る。</p>
課 題 設 定 情 報 収 集	<p>STEP 2 公園クリーン活動（探究プロセス1）</p> <p>○実際に公園へ行き、「みんなが心地よく集まれる」という視点から、各公園（ひばり・うぐいす・ちどり・しらさぎ）の実態を調査する。P&SシートのP欄に実態を書いておく。</p> <p style="text-align: right;"><情報収集：調査></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>みんなが心地よく集まる公園になっているかどうか、 確かめてみよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・雑草がたくさん生えている。 ・ゴミがかくれたところにたくさん落ちている ・ゴミ箱がない。 ・遊具のペンキがはがれて、さびている。 ・遊具や水道などこわれているところがある。 ・トイレが汚れている。 	<p>B-2-ア</p> <p>視覚、聴覚以外の感覚をつかうなど、様々な方法を使って多様な情報を集める。</p>

	<p>ポスターを紹介して、意見を聞こう。</p> <p style="text-align: center;"><情報収集・整理分析：KJ法></p> <p>○グループでポスターを見合い、カードに【良い点】【工夫した方がいい点】【具体的なアドバイス】を書いてもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どうしてごみを捨ててはいけないのか理由を書いたほうがいい。 ・ 何を呼びかけているのかわかりにくいから、見出しを分かりやすくしたほうがいい。 など <p style="text-align: center;">他のグループからもらった意見をもとに、 ポスターを作ろう。</p> <p style="text-align: center;">公園クリーン活動にでかけ、 ポスターできれいにたもてるようよびかけよう。</p> <p>○ごみ拾いやトイレ清掃に出かけるとともに、作成したポスターを掲示して公園利用者に美化についての協力をよびかける。</p> <p>○公園清掃に出かけた際を振り返り、利用者が少なかったことからどうすればみんなが集まる公園となるかを考える。また、その参考にするために公園へ出かけ、利用者にインタビューする。</p> <p style="text-align: center;"><情報収集：インタビュー></p>	<p>B-2-ア 視覚、聴覚以外の感覚を使うなど、様々な方法を使って多様な情報を集める。</p> <p>B-4 (1) 活動の過程や成果、結果などを学んだことを使って工夫しながら整理して表す。</p> <p>A-2-ア 力を合わせて前進する。</p> <p>A-4 地域にかかわる（関心を広げ活動する）</p> <p>C-1 自分なりの方法を考え、工夫しながら意欲的に活動する。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">課題設定・情報収集</p>	<p>STEP 3 ベンチ製作（探究プロセス2）</p> <p>○公園のお世話をしてくれている自治会長さんに普段の公園の様子を聞き、製作する物のヒントとする。また、市役所OBでもあることから、公園の名前に鳥の名前がついていることについてもお話を聞く。</p> <p style="text-align: center;"><情報収集：インタビュー></p> <p>○インタビューをもとに、みんなが集まる憩いの場になるようなものは何かを考える。</p> <p style="text-align: center;"><広げる：KJ法・ウェビング></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 看板をつくる。 ・ 花壇をつくる。 ・ 遊具をつくる。 ・ ベンチをつくる。 ・ 室内施設をつくる。 ・ トイレをつくる。 ・ スタンプラリーをする。 ・ イベントをする。 ・ 紙芝居をする。 ・ ポスターをはる。 ・ 回覧板 ・ ・ そうじ ・ きれいに 	<p>B-1 (1) 自分たちを取り巻く社会に目を向け、経験や既習事項と関連させて考え、課題を作る。</p> <p>A-1-ウ 相手の意図をつかみながら聞く。</p>

<p>課題設定・情報収集・整理分析</p>	<p>○自分たちで考えた製作物について、自治会長さんに意見を聞く。 <情報収集：インタビュー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・看板をつくる。⇒公園の名前をいかしてくれて嬉しい。 ・花壇をつくる。⇒綺麗だけど、最後までお世話ができるかな。 ・遊具をつくる。⇒子どもたちは喜ぶだろうけど……。作るのは？ ・ベンチをつくる。⇒散歩に来た人や、ゲートボールで利用している人たちは喜ぶかも。 <p>○もらった意見について、つくる時やつくったあとのことを視点に班で多面的に吟味して、全体で絞り込んでいく。 <吟味する：マトリクス><焦点化する：ピラミッドチャート></p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいな花壇があれば、心が落ち着く。 ・花壇はつくるのも大変だけど、あとの手入れも大変そう。 ・遊具があれば楽しい。 ・遊具は自分たちでは作れない。 ・ベンチがあれば遊んだあとや、散歩中の人々が休憩できる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>課題</p> <p style="text-align: center;">みんなが居心地よく集まるようにするために、公園の看板にもなるベンチを作ろう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">ベンチの材料やデザインは、どんなものいいかな。</p> </div>	<p>A-1-U 相手の意図をつかみながら聞く。</p>								
<p>情報収集</p>	<p>○グループで地域の公園のベンチを思い出したり、インターネット上で検索したりして材料やデザインの参考にする。ベンチの写真を印刷しておく。 <情報収集：インターネット></p> <p>○「居心地良い」「集まる」視点について、どうすればそうなるのかについて具体的に考える。 <広げる：KJ法、ウェビング></p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">「居心地良い」</td> <td style="width: 50%;">「集まる」</td> </tr> <tr> <td>・体を休めるか</td> <td>・安全か</td> </tr> <tr> <td>・心が安らぐか</td> <td>・めだつか</td> </tr> <tr> <td>・自然豊かか</td> <td>・きれいか</td> </tr> </table> <p>○視点にもとづいて、ベンチに取り入れたい工夫について、個人で考えふせんに書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">みんなが居心地よく集まるために、ベンチに取り入れたい工夫について考えよう。</p> </div>	「居心地良い」	「集まる」	・体を休めるか	・安全か	・心が安らぐか	・めだつか	・自然豊かか	・きれいか	
「居心地良い」	「集まる」									
・体を休めるか	・安全か									
・心が安らぐか	・めだつか									
・自然豊かか	・きれいか									
<p>整理分析</p>										

<p>整理分析</p>	<p>本時</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>みんなが居心地よく集まるために、ベンチに取り入れたい工夫について決定しよう。</p> </div> <p>○前時でふせんに記入したベンチに取り入れたい工夫について、視点をもとにピラミッドチャート・マトリックスを活用して位置付けていくことを確認する。</p> <p>○個人で考えたベンチに取り入れたい工夫について、視点をもとにした理由を明確にしながら絞り込む。</p> <p style="text-align: center;"><焦点化する：ピラミッドチャート></p> <p>○視点とベンチに取り入れたい工夫とを、マトリックスを用いて可視化しながら、視点ごと工夫ごとにどれがよいか、くっつけるのかななどを検討する。</p> <p style="text-align: center;"><多面的にみる：マトリックス></p> <p>○公園の看板になる要素を、ベンチのどの部分にどのように入れるのかを考える。</p>	
	<p style="text-align: center;"><広げる：KJ法><焦点化する：ピラミッドチャート></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体に鳥の絵をいれる。 ・鳥の名前もあるといいかも。 ・背もたれがあれば、そこにいれれば遠くからでも見えるかも。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>話し合った内容をもとに、ベンチのデザイン画を描こう。</p> </div> <p>○話し合ってきた内容で、ベンチのデザイン画をかく。構造についても補足で書き入れる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>イメージ画をいろいろな人に見てもらって、意見を聞こう。</p> </div> <p style="text-align: center;"><情報収集：インタビュー></p> <p>○自分たちのイメージ画を見合い、意見を出し合う。</p> <p>○自分たちのイメージ画を家の人や先生たち、市役所OBのかたにも見てもらい、意見をもらおう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>もらった意見を参考に、ベンチのデザインを見直そう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">ベンチ作りに協力してもらえるように、会社の人たちにプレゼンしよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">ベンチをつくろう。</p> </div>	

5 本時案

(1) 本時のねらい

「居心地よく」「集まる」という視点に沿って話し合う活動を通して、ベンチに取り入れたい工夫について比較したり焦点化したりして検討し、みんなが公園に集まるきっかけとなるベンチのデザインについて考えることができる。

(2) 展開 (45分)

学習活動と予想される子どもの考え	○具体的な支援 ●つけたい力 (評価の方法)
<p>1 前時を振り返りながら、本時の課題を確認する。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時であつかうベンチを確認し、前時の内容をふりかえる。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><本時の課題></p> <p style="text-align: center;">みんなが居心地よく集まるために、 ベンチに取り入れたい工夫について決定しよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ふせんに記入したベンチに取り入れたい工夫について、視点をもとにピラミッドチャート・マトリックスを活用して位置付けて行くことを確認する。 <p>視点 居心地 <体を休めることができるか> <心を安らげることができるか> <自然豊かか></p> <p>集まる <安全か> <めだつか> <きれいか></p> <p>2 個人で考えたベンチに取り入れたい工夫について、視点をもとにした理由を明確にしなが、ピラミッドチャートを使って絞り込む。(15分)</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>・ 木を厚くする ・ 背もたれ ・ 色 ・ ひじおき ・ 日当たりのよい場所 ・ 座り心地 ・ 周りを花を囲む</p> </div> <p>・ テーブル ・ クッション ・ 半分に屋根 ・ 景色のいい場所</p>	<p>○本時の話し合いの中心となる視点を板書することで意識させ、他グループの発表の際から視点をもとに聞くようにさせる。</p> <p>○ピラミッドチャートを用いてグループごとに検討する。</p> <p>○マトリックスを用いて全体で検討する。</p> <p>●視点を明確にして、他の情報と比較したり関連付けたりして考えたり、焦点化したりする。 (話し合いの様子)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">◆仮説との関わり◆</p> <p>ペアやグループから全体に広げていくための板書と発問の工夫</p> <p>どうすればみんなが居心地良く集まれるかという目的に向かって、可視化された情報をもとに、色々な工夫の中からより良いものを選ぶことで、各グループの意見を全体の意見としてとらえることができる。</p> </div>



3 視点とベンチに取り
いて可視化しながら、視
つけるのかなどを検討す

りを振り返り、次の活動に
。(振り返りカード)

	絵をか く	背 れ
心安ら ぐ		
体休め る		
自然豊 か		
安全か ...		



4 本時の活動を振り返る。(〇〇〇)
・座標軸を用いて話し合った時の思いやこれからの活動に向け
てつながるように書くように指導する。

佐伯市立渡町台小学校

2016. 2. 3 東 秀樹

③実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

○日常的に使っている公園の実態から「公園」のもつ役割を考えさせ、3クラスで取り組むにあたり、統一テーマを設定した。視点を決める際のキーワードを子どもたちと一緒に考えた。

(2) 実施にあたり苦労した点

- テーマは統一したものの3クラスの進捗状況がつかめずに足並みをそろえるための日程調整には苦労した。
- 諸事情で3学期は2クラスが合体した取組となり活動が同じになってしまった。ペンキや刷毛、看板の板、ベンチの木材などの買い出しが大変であった。
- 市役所の都市計画課の管轄である公園での活動許可願いや設置願い書など手続きを知らず関係者に迷惑をかけた。また、ごみ箱の設置については、ごみが逆に増えるために意図的に設置していない事を知った。ごみ箱を作る計画を立てていたグループについては、途中で変更となり再度計画の練り直しになりモチベーションを上げるのに時間を要した。
- 計画的した活動が組めずに（公園は4か所にグループごとにそれぞれが活動するために）授業のたびに振り返り、次回に活かそうとしたがうまくいかなかった。天気にも左右されてしまい3学期ぎりぎりまで活動を行った。

(3) 児童の反応

- 校区の公園を見つめなおす活動を通して、何気なく使っていた公園、あるのが当たり前と思っていた公園を「きれい・楽しい・安全」をキーワードにみんなが集える公園するためにどうすればいいのか、自分たちでできること、自分たちの活動は公園に集う人にとってどんな意味があるのか、など考えながら活動することができた。
- 子どもたちの取組の様子は、意欲的であり、ペンキを塗り上げたあとやトイレの掃除を仕上げたあと、ベンチを設置した後などの満足そうな顔つきは印象的であった。
- 子どものつぶやきから公園に対するイメージが変わった気がする。例えば「公園にごみ箱がない意味が分かった」「ペンキを塗るのが、こんなに大変だったとは」「トイレをきれいに使ってほしいなあ」など。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- 校区の公園の名称は、その公園を使用する際の願いであることを知った。また、市役所の管轄する担当の人や地域の方などからアドバイスや多大なる協力をいただいたことに、公園プロジェクトの取組は校内だけでなく地域の方にも校区の公園をきれいに楽しく安心して使ってもらいたいという気持ちの盛り上がり見られた。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

- 3クラスでの取り組みは、少々人数が多く進捗状況の把握が難しかった。しかし、子どもの公園に対する思いはこれまでの経験値が、かなりのウエイトをしめることが分かった。
- 思考過程を思考ツールで考えさせ、クラス全体で一つの具体物を作り上げていく手立てを展開していた5年2組の取組が効果的であったと考える。
- 総合的な学習の時間を核として他教科と横断的な授業の展開は子どもの思考・判断・表現力を向上させることができた。